令和７年４月２７日

令和７年度学術部地区代表委員会議(第１回)ならびに

ADTA トレーニングセンター実行委員会(第１回)討議資料(案)

開催日時	令和７年４月２７日(日)	午後１時００分 ～ 午後２時３０分	
開催場所	(一社)愛知県歯科技工士会　１Ｆ	大会議室	
出 席 者	本会役員	常務理事 加藤 雄一郎　理事 小澤 果織　理事 田嶋 祐太	
	ADTA トレーニングセンター	所　長　渡部 晃生	
	地区代表委員	第１地区　足立　成　・川村　真一	第２地区　山田　剣治・井桁　誠也
		第３地区　岡田　尚士・片桐　基喬	第４地区　加藤　拓　・長谷川　彰人
		第５地区　村松　新悟	第６地区　中村　直行・藤村　拓馬
		第７地区　垣内　幹晴・小林　竜士	
	オブザーバー	歯科技工士の人材確保対策事業実行委員会　岡田　尚士	(敬称略)

【目　次】

１．開会ご挨拶（加藤常務理事・渡部所長）

＜令和７年度学術部基本方針＞

基本方針

歯科技工部門の医療従事者としての知識向上や技術的スキルの習得を目指すため、今必要となる社会的事象の潮流に注目し、研修会や講習会等の企画を行ってまいります。 特に、CAD/CAMシステムの様なデジタルデンティストリーの中心的技術の情報等を会員へ可能な限り情報共有できるよう尽力し、そのノウハウ等を医療現場に反映できるよう研鎮の場を提供します。そして医療従事者としての資質を高めてゆきます。中でも若年層へ歯科技工業務に関しての学びの場の提供に注力します。

事業内容

① 日技生涯研修（基本研修課程及び自由研修課程）の開催及び受講者を拡大する
② ＡＤＴＡトレーニングセンターの次回開催に向け検討する
③ 愛知県歯科医学大会へ共催参加します
④ 各地区の研修会等への協カサポート及び他府県技会と学術活動に関する共同開催を検討します
⑤ ＡＤＴＡ臨床講座において会員への技術的修練の向上に寄与します
⑥ 各地区と本会の学術活動における連携強化をより推進し、支部主催による研修会および講習会等の開催に関して本会からの全面的バックアップを行います

２．議事内容

１）令和７年度日技生涯研修(自由研修課程・基本研修課程)の件
２）愛知県歯科医学大会 2025 の件
３）令和７年度(一社)愛知県歯科技工士会学術大会の件
４）第 47 回日本歯科技工学会学術大会・2025 年度東海北信越支部学術大会の件
５）ADTA 臨床講座　足立 成 先生コースの件
６）ADTA トレーニングセンター令和８年度運営方針の件
７）その他

令和７年４月２７日

１）令和７年度日技生涯研修(自由研修課程・基本研修課程)の件

＜令和７年度日技生涯研修自由研修課程「枝川智之先生」＞

開催場所　　名古屋国際センター(地下鉄「丸の内」)　別棟ホール

開催日時　　令和７年 10 月 19 日(日)　　午前 10 時　～　午後４時 00 分

開催方式　　参集型及び WEB(ZOOM)型のハイブリッド形式

担当講師　　枝川　智之　先生(パシャデンタルラボラトリー代表)

講演演題　　「時代を見据えた歯科技工の考え方（技術編）　ご講演①」(120 分)
「時代を見据えた歯科技工の考え方（経営編）　ご講演②」(120 分)

＜令和７年度日技生涯研修自由研修課程「XXXX 先生」＞

開催場所　　名古屋市中小企業振興会館　メインホール

開催日時　　令和８年２月 15 日(日)　　午後２時 20 分　～　午後３時 40 分

開催方式　　参集型及び WEB(ZOOM)型のハイブリッド形式

担当講師

講演演題

＜令和７年度日技生涯研修基本研修課程「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会」＞

開催日時　　令和８年３月 15 日(日)　　午前 10 時～午後４時

開催場所　　名古屋国際センター　別棟ホール

担当講師　　講演者選出検討中

募集人数　　参集型　100 名　　WEB 型　　50 名

開催目的　　デジタルデンティストリーの潮流における最新のデジタル技工関係の情報発信やアナログ技工との融合を鑑みる学術的発表の場を提供する。

２）愛知県歯科医学大会 2025 の件

＜愛知県歯科医学大会 2026＞

開催日時　　令和８年２月 14 日(土)　～　２月 15 日(日)
２月 14 日(土)　　午後０時　～　午後７時
２月 15 日(日)　　午前９時　～　午後４時

開催場所　　名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

担当講師　　講演者選出検討中

募集人数　　800 名（WEB 配信による聴講含む）

開催目的　　(一社)愛知県歯科医師会主催による歯科医学大会の開催に関し、学術的活動の協力を行う旨を以って歯科技工技術の学術的発表を行う。

＜カービングコンテスト 2026＞

２月 15 日(日)　　午前 10 時　～　午前 11 時 15 分　(「学生の部」＆「デジタルカービングの部」)

※「デジタルカービングの部」　午前 10 時　～　午前 10 時 30 分

※「学生の部」　午前 10 時 45 分　～　午前 11 時 15 分

※両部とも 10 名まで参加可

※午後０時　～　午後０時 30 分　（表彰式）

＜本会枠基調講演 ご講演＞

２月 15 日(日)　　午後２時 20 分　～　午後３時 40 分

※講師選択中　　基調講演「　　」

令和７年４月２７日

３）令和７年度(一社)愛知県歯科技工士会学術大会

※令和７年度厚生労働省・歯科技工士の人材確保対策事業指定予定

※(公社)日本歯科技工士会 日技生涯研修基本研修課程取得予定

開催日時　令和８年３月 15 日(日)　午前 10 時～午後４時
開催場所　名古屋国際センター　別棟ホール
担当講師　講演者選出検討中
募集人数　参集型　100 名　WEB 型　50 名
開催目的　デジタルデンティストリーの潮流における最新のデジタル技工関係の情報発信やアナログ技工との融合を鑑みる学術的発表の場を提供する。

４）第 47 回日本歯科技工学会学術大会・2025 年度東海北信越支部学術大会

開催日時　令和７年 11 月 23 日(祝・日)　～　11 月 24 日(振休・月)
※両日とも午前９時～午後５時
開催場所　愛知学院大学歯学部　楠元校舎
担当講師　基調講演者選出検討中及びポスター発表を検討中
募集人数　500 名（WEB 配信による聴講も企画）
開催目的　デジタルデンティストリーの潮流に合わせデジタル技工関係の情報発信や、アナログ技工との融合を鑑みる学術的発表の場を提供する。
(一社)日本歯科技工学会との共同開催として企画し、全国の歯科技工士に向けて最新技工技術関連の情報発信を行う。

５）ADTA 臨床講座　足立 成 先生コース

開催日時　令和７年７月５日(土)　～　７月６日(日)
８月 23 日(土)　～　８月 24 日(日)
※全日とも午前 10 時～午後５時
開催場所　一般社団法人愛知県歯科技工士会　会館３Ｆ技工研修室
担当講師　足立　成　先生（カナレテクニカルセンター部長）
募集人数　６名（WEB 配信による聴講も企画）
開催目的　補綴装置製作におけるジルコニア材の臨床応用は補綴治療の一翼を成す状況に至っています。最新の歯科技工技術について歯科技工を業とされている先生方に情報適用するセミナーとして計画しています。

６）ADTA トレーニングセンター令和８年度運営方針

①ADTA トレーニングセンターは設立から 10 周年を迎え、本会学術活動の一事業として結果を残してきたと言えます。

②令和７年度は本事業を一旦クーリングオフとして事業活動をお休みとし、次世代に向けた新たな活動を展開するべくセミナー開催の新規基軸構築に向けて検討を行う一年と位置付けます。

③過去の経緯(実績結果)としては、Cr-Br コースと Denture コースの２本立てにて隔年ごとに各々のセミナーを、シリーズ的立案を以って開催されてきました。

開催当初はポーセレンワークを主体としたセミナー開催で当該センターは活動を続けておりましたが、後に Denture コースを開催する新たな企画を組み入れるセミナー内容となりました。

しかし、昨今は受講費用の課題や参加人数の少数化等々の条件により、会員の多くの方々に受講いただくことが出来ていない現象も散見されるようになりました。

さらに、受講期間の日程的長さや当該人が希望する新たなセミナー科目の選択的余地がない条件が有るのではないか？と言った意見も出て来ています。

④未来永劫への活動展開を鑑み当該センターの「あるべき姿」の立ち位置を模索・検討する中で、改めて当該センターの基本骨子として「本会が認めるサティフィケート歯科技工士(仮称)」資格の設立を鑑み、本会か

ら(一社)愛知県歯科医師会会員様へのアピールとして、「安心・安全」をご提供できるサティフィケート会員の有資格者として認定してゆく構想も必要であると考えます。

７）その他

ADTA トレーニングセンター運営の件

＜確認及び認知事項＞

①ADTA トレーニングセンターが創設された頃から第６期頃までの開催は、若手歯科技工士の技術的育成指導と本会への入会促進を目的として開催されていたと言えます。

②その後、コロナ禍頃を契機として、ご担当頂いていた講師の先生方も年を経るごとにご生業が多用な環境となり講師としてのご担当が厳しい状況になられて来るようになりました。

③さらに最近ではデジタルデンティストリーの潮流が社会的に大きなうねりとなり、基礎学習を礎としていたADTA トレーニングセンターの実習コースも時代に呼応するように基礎学習から応用学習を主体とする実習コースに代わって来たと言えます。

また、ADTA トレーニングセンターの講師をご担当頂く先生方は、日技認定講師資格を有された著名な先生方がご担当される旨の方向性が敷かれていました。

④今現在、日技認定講師資格者は高齢化の狭間にあり、減少傾向となっています。しかも、日技認定講師の資格を取得するためには、日技生涯研修事業の受講履歴の１期クリア以上ならびに歯科関係機関誌における論文発表履歴や学会等での発表履歴が必要であり、加えること取得申請時は３ヶ年以内における当該活動事象履歴を以って申請することが資格認定の基本条件になりますので、ハードルは高いと言えます。

＜今後の展開ならびに展望＞

①時代、時代ごとに社会的環境は大きく変わって来ています。その変化の潮流を察知し、本会のあるべき学術活動のモットーを原点回帰して会員への最新情報の迅速なる提供ならびに共有化を基本として「変化への対応」を啓蒙する必要があります。

②如何せん、現状を踏まえますと環境的には本会学術部からの催事ならびに情報の発信・提供が主となっていると鑑みています。やはり学術的情報の提供の基本は、各地区からの催事要望が主となることが本意であると考えられます。

③ADTA トレーニングセンター実行委員会は、本会学術部が主たる企画を鑑みる組織へと変更しました。

因って、ADTA トレーニングセンター講師の先生方は ADTA トレーニングセンター講師会議にて ADTA トレーニングセンター実行委員会が企画した催事内容の上程案をご検討、ご確認いただくシステムとして独立した組織へと移行しました。

学術部と致しましては、各地区の学術部員様の忌憚のないご意見やご要望を当該実行委員会にて発言していただき、学術情報の本会会員への情報提供への寄与の礎を以ってご活動頂くことをお願い申し上げます。

３．弊会ご挨拶(小澤理事)

以上